

2023年11月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

入船鋼材株式会社に「人的資本経営推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、入船鋼材株式会社（代表取締役：市野 勝昌）に対し、「人的資本経営推進分析融資」を実施いたしました。

「人的資本経営推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業の人的資本経営に関する取組や情報開示を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の入船鋼材株式会社に対する評価結果は、人的資本経営において一定の取組みと情報開示を実施されているとの評価となりました。

人的資本経営の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 人事機能のみに特化した部署を持たず、各種経営課題を全て役員会などの経営陣が参加する場で議論しているため、人事戦略が経営戦略や事業戦略と分断された形ではなく、常に一体として議論されている点で、経営と人事の連動を図りやすい体制を確保されている点。
- ② 営業支援ツールやRPA等の導入、社内システムの標準化等の取組みを進めるなど、業務の生産性向上に努めておられる点。
- ③ 単位時間当たりの平均賃金、初任給・基本給のベースアップ引き上げ率、従業員一人当たりの法定福利費について経年変化を把握されている点。

三井住友銀行では、「人的資本経営推進分析融資」により、お客さまの人的資本経営への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 人的資本経営とは

人的資本経営とは人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方を指します。

以 上